



いきなり結論です

空間の中に物がある。

空間とは物が存在する場である。

こう考えるのが常識ですね。

で、この本での仮設を述べさせていただきます。

「空間」と「物質」は同一である。

ちょっと説明を足しますね。

物質とは空間のねじれであり、空間は物質が解けほどけた状態である。

宇宙はどうなる・・・どうだった？

この本のタイトルは「空」と「無」です。

「空」と「無」は同一である・・・
・・・と、聞いても、「当たり前」とお思いでしょう？

でも、「空」と「無」は正反対の状態でありながら、
しかも同一なのです。

まず、「無」とは？

「ビッグバン」以前の状態。
空間は無く、星や様々な原子の素が極限まで縮められた状態・・・
・・・これが「無」。

では、「空」とは？

「ビッグバン」以降に成長しつつある状態。
縮めに縮められていた「物」が一気に解放されて広がっている途中が現在の宇宙です。
そして、この「物」というのは、凝縮され、丸められていた空間です。

現在の宇宙にある星や様々な物質は、空間のシワにすぎません。

宇宙がどんどん広がりシワが伸びていくと、物質は希薄になり続け、ついには全宇宙が全空間になります。

その直後から、空間は収縮を始め、シワを寄せて物質を生み出しつつ、「物」の密度を上げていき、
ついにはビッグバン以前に戻ります。

つまり

ビッグバン以前の「物」だけの状態が「無」であり、
ビッグバン以降の最期に訪れる、物質が消えた全空間を「空」と言います。

物質の質量が空間を歪めて引力が生じますが、
空間がねじれても物質を生み出します。

そういえば・・・

般若心経にも似たようなことが・・・

「色即是空」「空即是色」

現在の宇宙は、まだまだしわくちゃだらけなので、色んな物質はもちろん、色んな「世界」も隠れているかもしれませんよ。

文字通り「空想」

現代社会では、石油、石炭、ガス、ウランと物質からエネルギーを取り出して発展しています。

物質＝空間なので、ひょっとしたら未来には空間からエネルギーを取り出す技術が誕生するかも。

そうなったら究極のクリーンエネルギーですよ。

ま、それは、もうチョイ先のこととして、目下、風力、太陽光に頑張ってもらいましょう。

近い将来においては、世の中を一変させるかもしれないのが、「蓄電池」。

超高性能の製品が出現すれば、エネルギーロスが劇的に抑えられる気がします。

あ、稲妻を捕らえて貯められる蓄電池とか・・・(^_^)♪